平成29年７月15日(土)実施

宇部市新庁舎建設 ワークショップニュース 10 第２号

発行：都市整備部まちなか再生推進課本庁舎建設係
〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号　電話0836-34-8200／ファックス0836-22-6050

７月15日（土）の午後、宇部市総合福祉会館にて、第10回「宇部市新庁舎建設ワークショップ」を開催しました。25名の市民が８つのグループに分かれて、宇部らしい市民活動支援機能を中心に話し合いました。

まず最初に、前回のおさらいをした後、庁舎の配置の考え方と行政から市民へ発信している活動について、市から説明しました。次に情報発信コーナーについて、宇部市らしいコーナーとなるためのポイントをグループで話し合い、意見を出し合いました(p2～)。その後、多目的ホールの使い方について、旗揚げアンケートで意見をお聞きしました(p5)。続いて、市民活動交流コーナーについて考えるための先行事例として、長岡市庁舎の市民協働スペースの使われ方をご紹介しました(p6)。休憩の後、飲食・休憩スペースについて、グループごとに話し合って意見を出していただきました(p7)。最後に、市民活動支援機能・まちづくり拠点機能について気になる点や提案を全体の場で確認し(p8～)、感想カードを記入していただいて(p10)、第10回のワークショップを終了しました。

これまで話し合った内容に基づき、第11回ワークショップでは、ワークショップ検討案を提案し、市民活動支援機能・まちづくり拠点機能についてより具体的に話し合いを進めます。より多くの市民のみなさんの意見に基づき基本設計案を作成していきたいと思いますのでワークショップへの参加をお願いします。

ワークショップの流れ

■第９回
日時：平成29年５月20日(土)14:00～
場所：ハミングロード新天町アーケード内

■第10回
日時：平成29年７月15日(土)13:30～
場所：宇部市総合福祉会館

■第11回
日時：平成29年８月５日(土)13:30～
場所：ときわ湖水ホール

■第12回
日時：平成29年９月23日(土)13:30～
場所：宇部市立図書館

第10回プログラム

1．はじめに
2．市民が必要とする宇部らしい市民活動支援機能について考える
　【設問１】情報発信コーナーについて
　【設問２】多目的ホールについて
　【設問３】市民活動交流コーナーについて
　【設問４】飲食・休憩スペースについて
3．市民活動支援機能・まちづくり拠点機能の全体についておさらいする
4．まとめ

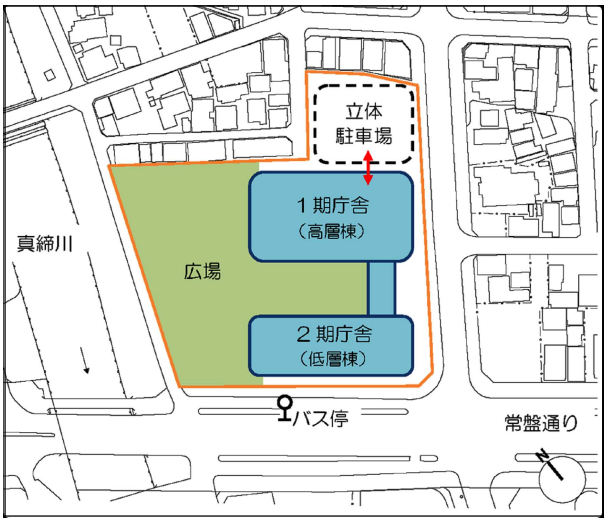
新庁舎の配置が決まりました

新庁舎の配置計画にあたり、基本計画に掲げた「特に重視する５点」に基づき、アドバイザーの意見も参考に検討を行い、決定しました。

【基本計画のＢパターン】をベースに基本設計作業を進める

※Ｂパターン：「真締川公園との一体整備」と「まちなみの連続性」を重視した案

・現駐車場部分に１期建物を建設し、移転後、常盤通りのまちなみに配慮して現庁舎部分に２期建物を建設し２棟構成とする案



選定理由

○仮設庁舎を利用せず、庁舎の建替えが可能。
○２期庁舎を常盤通り沿いの既存の建物と壁面線を合わせたり、建物群が形成するシルエットと揃えることで、常盤通りの街並みと都市としての品格が形成される。（宇部市景観計画にも合致）
○真締川公園、広場、市民活動支援機能（２期庁舎）を連続して常盤通りに面して配置することが可能になれば、街に対して、今までにない魅力的な空間を生み出す。
○市民活動支援機能が入った２期庁舎と広場が隣接していれば、広場でのイベント時にバックヤードとして使用できる。
○常盤通りのバス停に２期庁舎が近接することで、バス利用者が雨天時や日差しのもとでも、快適に移動可能となる。
○１期庁舎を執務スペース、２期庁舎を市民活動スペースにすることにより、退庁時や休日の市民活動時のセキュリティマネジメントが容易となる。
○立体駐車場にすることにより、庁舎敷地の大部分を駐車場が占用することなく、十分な広場や歩行者空間の確保が可能となる。
○夏季の卓越風（東南東の風）を取り込める建物配置計画となっている。
○駐車場の進入路は、比較的道路交通への影響が少ない東側道路からアプローチが可能。

宇部らしい市民活動支援機能について考えました

はじめに「行政から市民へ発信しているいくつかの活動」について市役所から説明した後、市民にとって必要な宇部らしい市民活動支援スペースのあり方について考えました。

設問１

情報発信コーナーについて

基本計画の中で提案されている①展示ギャラリー、②図書コーナー、③特産物紹介、④観光案内情報について、前回の話し合いで具体的な使い方イメージが提案されました。これらが宇部らしいコーナーとなるためにはどのようなことがポイントになると思いますか？　［　］はグループ番号

① 展示ギャラリー

＜市内の情報・情報発信＞

・市内の情報（商店街等）を知らせるためのツール［１］
・新天町のことを知らない、銀天街のことを知らない⇒市役所が中心になる［１］
・学生が情報を知らない⇒市の情報を拡散させる工夫［１］
・市民イベント、情報発信の場（商店街、カラオケ）［１］
・イベントの案内をしてほしい。［４］
・プロモーションビデオを流す。［２］

＜必要＞
・いる［1］

＜歴史＞
・真締川の歴史、ときわ湖の歴史、宇部の産業の歴史、石炭工業から石油化学工業への歴史［2］
・宇部の歴史、文化財の紹介［4］

＜地図＞
・宇部市の古地図⇒昔の海岸線と現在、地名の付け方など。［2］
・炭鉱（坑道）の地図［2］

＜展示品＞
・市民のコレクション展示［2］
・スカルプチャーモデル展示［2］
・宇部市が保管している作品など［4］
・ビエンナーレ出展作品のミニチュア展示コーナー［7］
・地元の芸術家の展示コーナー［7］
・花壇コンクールの入賞作品の展示（写真）［7］

＜展示のアイデア＞
・市役所の中だけでなく、展示ギャラリーを分散化してはどうか。［4］
・稼働式のパーティションで自由にレイアウトできる。［4］
・個人の展示会に利用［4］

② 図書コーナー

＜必要＞
・図書館以外のコーナーは必要がない。［6］

＜不要＞
・必要ない。近くに図書館がある。［4］

＜市の資料の閲覧、市の情報発信＞
・議会、図書館の出先（委員会の記録をオープンに）［6］
・行政公文書の閲覧ができるように（コピー機、じっくり見られるように）。［6］
・行政担当から直接説明を受けることができるように。［6］
・市の計画案などをタイムリーに紹介（資料展示、報告書）［5］

＜置きたい本＞
・子ども連れ用の絵本を置く。［6］
・山口県にゆかりの人や作家の本の紹介など！［6］

＜展示ギャラリーと一体化＞
・展示ギャラリーと図書コーナーを一体化［5］
・市民の作品などを展示する場所をつくる［5］
・宇部市の地図を壁や床で展開し、歴史や情報等を面白くＰＲする。［5］
・文字で展示…ということにこだわらず、色や視覚に工夫をする。［5］

③ 特産物紹介

＜特産物の販売＞
・日本酒「貴」の製品、永山酒造のもの［2］
・赤間硯とそのグッズ［2］
・プロバージョンのギター［2］
・小野茶、カマボコ、ゴボウ、ハモ、ワタリガニ（月まちガニ）［2］
・厚東川産「かいがらあまのり」［2］
・紹介だけでなく商品販売［6］
・特産品展示（飲食物、工業製品）［7］
・宇部ブランド展示コーナー［7］
・農産物、地域ブランド品？［7］
・土日も開いている販売所［5］
・農産物市、朝市、夕市の開催［5］
・24時間営業販売［6］
・特産物を紹介＋食べるところ［8］

＜イメージ＞
・明るいところで［8］
・新山口駅のゆったり緑のイメージ［8］

＜アイデア＞
・ラーメンフェスタ［3］
・宇部×大手の飲食のコラボ［3］

＜観光案内と特産物紹介を一体化＞
・観光案内と特産物紹介を一体化［5］
・宇部市のＰＲ。市外、海外から来た方の利便性［5］
・宇部のまちの構造がわかるように工夫する。［5］
・旅行会社（代理店）があったらいい（ＪＴＢ、宇部市営）［5］
・宇部で現在、何が起きているか、情報発信［5］
・マップ［8］
・石炭記念館［8］
・市民活動センターのポイントがあり観光案内があるとコストもダウンして連携する。［8］
・宇部市の総合案内。宇部市役所に行ったら宇部がわかり、ゆったり過ごせる、おいしく過ごせる。［8］
・市民に知らせる（宇部市民が宇部のことを知る場）［8］

④ 観光案内情報

＜観光、イベント情報＞

- 動物園情報。イベント情報。［1］
- 観光案内。パネル表示［7］
- イベント情報、スポーツとかをしたい…［3］
- ときわ公園をもっと広める。［2］
- ときわ公園、植物園、動物園はリニューアルされて楽しい場所になった。［2］
- こもれびの郷の温泉などをもっと知ってもらう。［2］
- 市役所、施設の花など、いろんな人に見てもらう。［2］
- 楠町の里山（こもれびの郷など、日常から解放されてリフレッシュできる）［2］
- アクトビレッジおののハーブ園［2］
- 学びの森くすのきの展示、本［2］
- 小野湖（開発）、こもれびの郷（開発）、琴崎八幡宮アクトビレッジの再利用、宗隣寺［2］
- 村野藤吾の建築のＰＲ［2］
- 宇部10橋［8］
- 彫刻紹介［8］
- 外国の観光客が宇部市内に来られる様PR［7］
- 留学生との交流の場づくり［7］
- マップ［8］
- 宇部市内にとどまっていただけるような案内がほしい。［8］
- 電車との連携［8］
- 100円バスでプチ観光［8］
- 小ネタの観光［3］
- ちょっとした時間をつぶせる情報［3］
- 宇部市の総合案内。宇部市役所に行ったら宇部がわかり、ゆったり過ごせる、おいしく過ごせる。［8］

＜必要＞

- いる（特産物紹介も込み）［1］

＜特産物情報＞

- 特産物の情報［1］
- 特産［8］
- 夏限定の仁井ブドウ［2］
- 宇部かま（新川）［8］

＜情報発信＞

- 外部から企業を入れるための情報の場［1］
- 発信元←×→欲しい人［3］
- 宇部市の人が宇部市の情報を知らない。［3］
- 市民が観光に関する情報を知らない。［1］
- 日常的な飲食情報［3］

⑤ その他（シティセールス促進など）

＜情報発信＞

- 献血のお知らせ［4］
- 市外のイベント情報［4］
- 市外の人と情報交換できる場［4］
- 周辺の商店街に行ってみようと思えたらいい。［4］

＜レイアウト＞

- 市民活動スペースと行政スペースを混合（時間外の時のため）［1］
- １階が行政、２階が市民、３階が行政みたいにバランスを考える。［1］

＜アイデア＞

- 宇部空港の利用。１人1,000円タクシー。インバウンドの効果。外国人客のみ利用。市内３時間、４人乗りまで。［2］

＜市政運営＞

- 市役所の機能。ワンストップ、ドライブスルー。［1］
- 行政手続きがスムーズになるように。［1］

＜その他＞

- 立地を見直す（真締川公園）［4］

［１グループ］

［２グループ］

［３グループ］

［４グループ］

［５グループ］

［６グループ］

［７グループ］

［８グループ］

多目的ホールについて

設問2

多目的ホールは、基本計画では平土間形式の150～200名規模のスペースとして提案されています。ヒストリア宇部との役割分担などを踏まえ使い方について考えをお聞きしました。

① 市庁舎の中にあるので、ヒストリア宇部よりも公共性の高い利用内容を優先すべきだと思う。	6
② ヒストリア宇部のイベントホールにはない設備や機能を備えたホールとして利用の幅を広げると良いと思う。	10
③ 利用料金や利用時間の点でヒストリア宇部のイベントホールと差別化すべきだと思う。	6
④ 特に役割分担など考えない方が市民にとっては利用しやすいのではないか。	9
⑤ その他	10

その他を選んだ方に意見をお聞きしました

⑤を選んで－１：使い方がまだよく分からない。ヒストリア宇部だけでなくシルバーふれあいセンターや福祉会館、青少年会館もあるのでもっとＰＲしてほしいし、どうやったら市民に情報を見てもらえるかをもっと考えて欲しい。湖水ホールはすごく使いにくかった。また小野の研修センターが12床になり、市内の学校が他市に行っている現状がある。多目的ホールという名前にも意見があったので⑤に手を上げた。

⑤を選んで－２：市役所の中にあるので市役所の方が主に使い、それ以外に市民の方が使うことになる。そうなると講演、会合、研修に使うようにした方が良いのではないか。普通のイベントホールは市内各所にあるので、そういうものを利用した方がむしろ良いのではないかと考える。

⑤を選んで－３：②と⑤を選んだ。先ほど他にホールがあるという話が出たが、基本がなっていないホールばかりなので、機能的で使い易い、いろんなことに使えるきちんとしたホールが市役所の中にあれば一つの売りになると思う。

⑤を選んで－４：他のホールを改造すればきちんとしたホールに出来るのではないか。少し無駄な感じがする。ヒストリア宇部の方に直接アクセスできるような空中道路をつくるのも面白い。

⑤を選んで－５：ホールは文化会館にも年金会館にも福祉会館にもある。私もいろんなホールを使ってるが、結構空いててもったいない。きちんとした目的があるなら良いが、もう少し生産性のあるものをやった方が良いのではないかと思う。

⑤を選んで－６：例えば音楽的なイベントをする場合、違う目的で来ている市民に「うるさい」「へたくそ」と思われると、市役所の方に苦情が行く。そうすると音楽的なイベントはだめになり、多目的ホールではなくなって結局、静かなイベントや会議しかできなくなる、そうした場合、市民の利用が果たして年間を通じてあるのかと思った。

⑤を選んで－７：何にでも使えると言うことは的が絞れていないということ。音楽に使うなら最初からそういう仕様にしないと騒音の問題が出てくると思う。ヒストリア宇部に同じ規模のホールがあるが、そんなに使われているイメージがない。ヒストリア宇部とは違う、特化したホールをつくることを考えたほうが良い。

⑤を選んで－８：基本的に必要ない。イベントホールが欲しいなら市議会の議会堂を使えば良い。議会は臨時の議会を除いて年に４回だが１議会は長くて５日、短い時は４日しか使わない。

⑤を選んで－９：市役所併設のホールではなくて、市役所の隣にある建物。ホールは公共性云々ではなくて、不特定多数の人を集めるのが目的だと思うので民間委託にしたら良い。委託された人は人を集めるイベントを考えなくてはいけないので。

その他のご意見

参加者－１：ヒストリア宇部は音響的に全くだめ。あそこはもともと銀行なので、音が響かないようにしてある。どうしても音楽をしたければ、議会堂に良い音響設備やカメラを設置すれば良い。

参加者－２：６月にちびっこの集いを体育館でやったがエアコンがなかった。じゅうたん敷なら赤ちゃんが集まるスペースにもなり、たくさん人が集まるかもしれない。

ファシリテーター：次回、設計側の提案を出した上でもう一度議論したい。

設問3　市民活動交流コーナーについて

市民活動交流コーナーを考えるうえで参考になる先行事例として、長岡市庁舎の市民協働スペースの使われ方について情報提供しました。

複合施設アオーレ長岡とは

○新潟県長岡市に平成24年４月１日オープン
○屋根のある中庭『ナカドマ』を中心に市役所、議会、アリーナ、市民交流ホール、シアターなどが入った複合施設。
○長岡駅から空中通路でつながっている。
○市松模様に行政と市民活動が混ざり合うことを基本コンセプトに計画が進められた。

官民連携

○計画段階（ワークショップの開催）、資金調達段階（市民債の発行）、運営段階（市民自らが運営）で市と市民と協働し、事業が進められている。

アオーレ長岡の運営体制

○ＮＰＯ法人ながおか未来創造ネットワーク（愛称：CINA）の設立。
○理事はまちづくり関係者を中心に20名で構成。運営スタッフは21名と長岡市のスタッフが共同で運営する、官民協働スタイル。
○市が安全対策、トラブル対応、使用許可等で下から支え、ハード面については別途専門業者に管理委託している。
○ＮＰＯ団体は市民利用スペースの運営（貸館受付、コーディネート、視察・見学者の対応、情報発信）、イベントの企画立案等を行う。

市民協働条例の制定

○市民協働のまちづくりを推進するための「基本理念」「基本原則」「協働の環境整備」を規定し、様々な利用が出来る体制、仕組みになっている。
○条例づくりには条例検討委員会の議論の他、市内全域で30回のワークショップを開催し1,000人を超える市民の声を反映した。

ながおか市民協働センター

○市民活動を支えるためにＮＰＯ法人市民協働ネットワークと長岡市が協働で運営し、様々な市民活動を支援。
○コーディネーターが常駐し、多様な相談に対応する。市民活動や地域情報の発信、市民利用スペースの受付・予約・案内業務も行う。
○センターには相談窓口、ロビー、協働ルーム、展示スペース、情報・図書コーナーがある。
○市民活動をサポートする備品として、コピー機、紙折り機等が備えられており、登録団体は無料で使用ができる。また、便利な貸出施設として団体のロッカー、コンテナ等もある。

参加者から：長岡は雪が多く簡単に移動できない。また東京からのアクセスが良く、平地で催し物がしやすい。各校区ごとにふれあいセンターがあり、サテライトで活動している宇部とは違うので、あまり参考にならないのではないか。
ファシリテーターから：どういう形が宇部に向いているか、これから時間をかけて話し合うための事例として紹介した。

設問4　飲食・休憩スペースについて

市民が利用しやすく宇部らしい食堂やカフェについて、５つのタイプから１つを選び、アイデアを出し合いました。

① できるだけ安く食事が提供できる食堂
② 値段は高めでもきちんとしたノウハウのある大手の業者に委託するレストランやカフェ
③ 障害者団体やボランティア団体に雇用の場の提供も兼ねてお願いする福祉カフェや子ども食堂
④ 毎日運営されなくてもイベント的に利用されるような調理スペース
⑤ その他

＜1グループ＞　①+③+④

・安く提供　　・フードコート
・外に展開できるカフェ
・共働きや母子家庭のための食堂
・イベントができるようにする
・調理スペース有り（チャレンジカフェ）
・昔の宇部らしいうどんを提供する
（ダシがおいしい）
・安く続けられて何個もあったら
・管理の工夫次第
・料理を作るスペース（土・日）。
多世代交流も含めて。

＜2グループ＞　④

・毎日運営されると良いと思う。
・エヴァンゲリオンカフェ
・スペースを変化させることが可能な、カフェやレストラン
・「ピアニッシモ」で小箱ショップをやっている→雰囲気を良くする
・お好み焼きやせっちゃん300円、このような隠れた安くておいしい店にチャレンジしてもらい、ＰＲできるスペース
・プロの料理人に１ヶ月程度の短いスパンでチャレンジしてもらう（第８回ＷＳでも提案済）
・投票で出店を頻繁に入れ替える

＜3グループ＞　⑤

・商店街に影響の出ない値段設定
・障がい者の方がやっている
・食のイベントの中心になれる
・レンタルボックスで花や緑、彫刻の展示、販売
・広場のイベントの運営も手伝ってくれる。
・pole poleさんとか、coffee boyさんとか…。
・県内で繋がりの強い企業
・県内である程度の規模とノウハウのある企業
・価格競争をしない
・おいしい飲食のノウハウ

＜4グループ＞　③

・軽食、パンでも良い
・障がい者が頑張っている姿が見られる。
（特色がある）
・安く提供できたらいい
・市役所内はカフェのようなもの。しっかりとした食事は外へ

＜5グループ＞　⑤

・食のＰＲ機能も兼ねる。おいしい。
・健常者、障がい者が一緒に働いている。
・Cafe、小箱カフェ
・移動販売も活用

＜6グループ＞　④

・特産物の棚。販売と一緒にする。
・手作り品の販売もできる。
・日替わり出店。カレーの日、ラーメンの日など。数店舗出して食べ比べができる。
・職員食堂と市民食堂の複合化（一つにする）
・職員食堂と一緒にしてメニューを増やす。

＜7グループ＞　③+⑤

・「障害者団体やボランティア団体に雇用の場の提供も兼ねてお願いする、福祉カフェや子ども食堂」は、ピーク時の利用（11:00～14:00）に限られる。
・コンビニ、売店があってスペースがあればよい。
・一日を通して常に飲食施設が利用できるようにしたい。
・県庁のイメージ。ピーク時は食堂、それ以外はカフェや売店が利用できる。

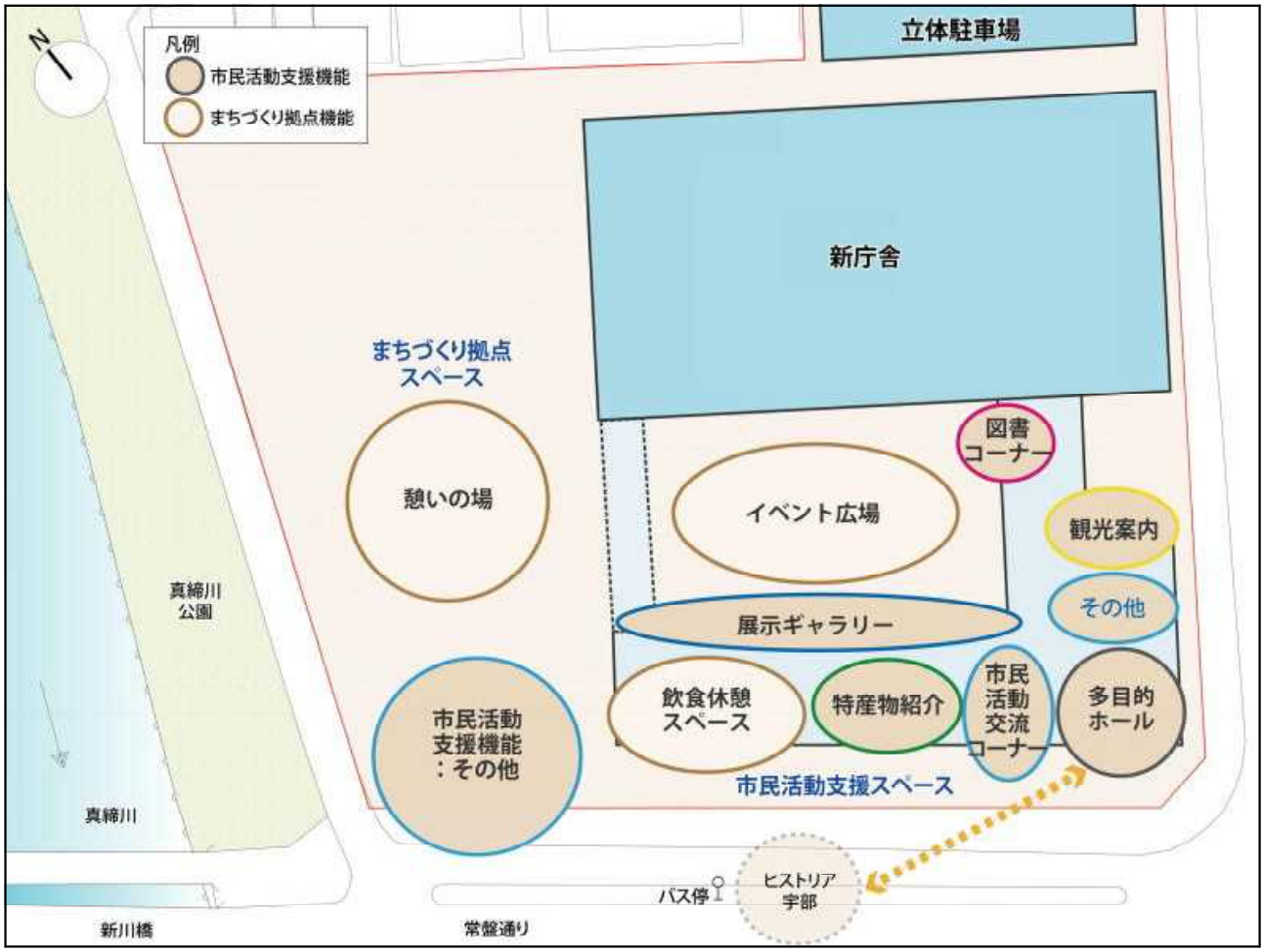
＜8グループ＞　⑤

・市役所ならでは、もあるとうれしい。
・用事のついででもあると思うので、早いこともうれしい。
・夜、土日も営業してほしい。
・安い方がうれしい。
・安心はうれしい。
・定食　・喫茶　・特産品が食せる
・市役所でしか食べられないもの
・バイキングもいいかな。
・リピーターが来るような
・観光もかねて地域のものが食べられる
・味で勝負!!

市民活動支援機能・まちづくり拠点機能の全体についておさらいしました

市民活動支援機能・まちづくり拠点機能について、気になる点や提案を書いていただきました。

［　］はグループ番号



※前回出された『市民活動支援スペースや広場でこんなことができたらいいナ！』でのアイデアをまとめたものです。位置についてはイメージであり、この内容が基本設計となるものではありません。

～真締川公園と一体的に整備する～

○真締川公園と一体のいこいの場にする（現状は暗い）。現状は幅が狭く、落ち着いて花見ができない⇒広い公園［1］
○親水空間（キャナル、門司港）［2］
○ミズベリングウベを広場に取り込む［2］
○川を感じる広場がいいな［3］
○オープンカフェが出来るスペース。真締川公園付近。［7］
○広場と川の間の道をなくす［2］
○真締川公園との間の道路は廃止して、公園と一体化して整備してほしい。［7］
○真締川公園と敷地を一体化する事は（道路をなくす）。［8］

～駐車場～

○バス利用者は少ない。駐車場は近くに。南側駐車場は使い勝手が良い。［1］
○市民活動スペースと駐車場を近く。土日、利用しやすくなる。［1］
○臨時駐車場の区画はきちんとデザインしてほしい。［2］
○最低500台の駐車場。300台では足りない。［2］

～周辺との関わり～

○周辺商店街の利用を行う事は出来ないか。［4］
○市民活動支援スペースを中央町にもっていく！［6］
○新天町、井筒屋への屋根のある道があると、大きな街構想になりうれしいです。［8］
○常盤通りと連携した道路整備［3］

～駐輪場～

○玄関前の駐輪場の整備位置の変更［3］
○駐輪場で、自転車の乗り方や自転車のイベントなどもできると共生できるかも。［8］

～広場～

○平坦ではなく立体的にしても良いのでは［1］
○内外が一体となった空間［1］
○ＢＭＸができるような広場。ストリート系スポーツ。［2］
○地下面からＬＥＤポイント照明［2］
○ＬＥＤカラーチェンジによる照明⇔ミストは絶対欲しい［2］
○ライトアップ作戦できる仕掛けの準備［8］
○広場は透光式太陽電池パネルで屋根を作る［2］
○イベント広場に屋根をつけて、全天候で使用できるようにする。［6］
○雨天でもイベントが出来るよう、イベント広場には屋根をつけて欲しい。［7］
○祭りができるよう、芝生広場をつくる。［6］
○子どもの遊び場（遊具はいらない）［6］
○花火大会が展望できるように！［6］
○災害時に利用できるようなスペース［7］
○広場ならイベント時にほこりがたたないような仕上げ（芝生、コンクリート）として欲しい。近隣地区。［7］
○展望タワーがあると良い。［8］
○庁舎のシンボルとして展望タワーを設けたら如何？［8］
○憩いの場の活用方法をある程度、決める必要アリ。［8］
○噴水。憩いのシンボル。［8］
○庁舎前は広くイベントスペースを設ける。景観上の問題があれば柱、梁を設けてイベントスペースとする。［8］
○屋台、野外レストラン［8］

～行きたくなる新庁舎～

○まちづくり拠点スペースでいろいろなアイデアがあるが、「行ってみたい」と思えるイベントや景観など、目玉をつくればいいのでは？［4］
○青空市など、市役所に少しでも行ってみたくなる事［4］
○ちょっとした事で良いので、寄ってみたくなる（宇部市の歴史を見られるようなもの。コーヒーを飲める）。［4］
○人の集まる、憩える宇部市役所［8］
○たくさんの人とふれあえる場所［4］

設計者からのコメント

次回はこの意見を基に市民活動支援スペースの具体的なあり方と、広場について素案をお出ししたいと思います。また庁舎がどういう形でまちに広がるべきかについても皆さんと議論していきたいと思います。

～ファサード～

○ファサードがどうなるか？［2］

～バス停～

○バスを利用しやすくするため、バス停を庁舎敷地内に移動して欲しい。［7］

～市民活動支援～

○市民活動支援について、展示ギャラリーや交流コーナーなどをまとめたらいい。［4］
○中間支援組織と役所との共同オフィス［5］
○博多の屋台みたいに市民活動の持ち込みができるまちづくりの拠点はいかがでしょうか！［8］
○市民活動スペースを公園側に寄せる。［8］
○ＮＰＯなどの拠点を庁舎に入れるべき［7］
○市民活動支援を民間委託する。［6］
○５階建てと２階建てのスペースの使い方、活動の違いもはっきり使い分けのできる市役所［8］

～利用しやすい空間～

○自由に作業が出来るような空間にして欲しい。音を出したい、ものをつくりたい、電気、水。［3］
○待ち合わせなどができるロビーを［6］
○会議後、話ができるちょっとしたスペースが欲しい（雑談）。［7］
○各スペースの入口を工夫する必要アリ。［8］
○外部空間と内部のつながり。若者も高齢者も気軽に集えるよう誘導できるエリア［5］

～ホール～

○機能が充実したスタジオ形式のホール［5］
○時間制限なしに利用できるスペースが欲しい（例えば多目的ホール）。［7］

～情報発信～

○食堂、カフェは宇部の食文化のＰＲ機能を担う。［5］
○地産品ＰＲは飲食スペースと計画できないか。［5］
○特産物や手作り品を販売できるようなスペース＋食堂［6］
○総合的な「宇部市のビジターセンター」としての機能を担うことが重要［5］
○市民の知恵や活動を集約する試みの情報を提供する。［5］
○宇部の歴史の発信［5］

感想カード

最後に、今日参加した感想や今後の進め方など、自由に感想カードにお書きいただきました

いろいろな意見が聞けて良かった

○いろいろな意見が聞けてよかった。
○いろいろな意見が聞けて大変有意義なワークショップでした。具体化するのが難しそうなものもありましたが、今後も議論していいものになることを願ってます。
○色々な考えが有り、大変参考に成りました。市民が町に出た時に、ちょっと市役所に寄ろうと思うような市役所にしたいです。
○いろいろな意見（実現不可もあり）を聞く事が出来ました。今後、設計にどう活かされるのか楽しみです。設計に期待しています。
○次回が楽しみになるワークショップでした。又、色々な人の意見等も参考になりました。
○様々な職種や年代の方が多く集まり、多数の意見が出されており、学生として参加させて頂いてとてもタメとなるＷＳでした。多くの方がそれぞれ知っている情報や歴史を持ちよって、こうすれば良いや、これはダメといったことを話し合うことが出来たのではと思えるＷＳで、みなさんの意見が通ることは難しいとは思いますが、数多くの意見の実現がかなうことがあればとても面白いと思いますので、今後の展開がとても楽しみです。
○日常生活でお会いしない様な方々とお話が出来て面白かった。
○色々な方の意見が聞けてとても良かったです。人を集めるための市役所となれば良いなと思います。

次回に期待したい

○次の時代の宇部で活動する若手がかなり少ないことが気になりました（学生以外）。広場でイベントを行える企業や団体をもっと呼んだ方がいいのでは？ポジティブな空気感のある会になればいいなと思います。
○色々な意見が出て来てよかったと思います。この次は面積等がわかれば、より具体的になると思います。
○僕は今回のワークショップの参加が２回目だったけど、宇部市新庁舎建設の準備が進んでいけば良いなと思いました。完成までまだまだ時間が掛かるけど、完成するためにまた機会があれば参加できたらと思います。
○話は沢山出ましたが、建物外観イメージがあるとより分かりやすいかと思います
○５階建ての新庁舎に何が入ってどれくらいの大きさなのか、わかりにくく今日はアイデア、思考がまとまりにくかったです。ほぼほぼ決まりつつある中、その中でより集まりやすい、宇部市といえば”市役所に行けばわかるよ”と 街に人々が動きだせればうれしいと思います。100年行きたくなる今の方々と、次の世代も行きやすいステキな宇部市役所になりますように。住みやすい宇部市、将来のために…。
○ワークショップの回数を重ねる毎に、より具体的な意見が多く出る様になった。

計画に対して

○真締川公園のそばの道路をなくして、広場の一体化をのぞみたい。
○議論すべき課題が明瞭に提出されていて、良い進行だと思います。常盤通りの整備について検討して欲しい（自転車の通行空間がない、側道が早い者勝ちの駐車場として使われている現状がある）。
○少しずつ結論がついて来ている様ですが、市役所と生活支援活動センターの連携して使用が出来る様にしては。時間の問題も考えて進めるべきと思う。市役所建物前の広場を設けた方が良いと思う。
○着工はオリンピック後に。空間は祭りの事を第一に。
○いろいろな角度から検討し、無駄なお金を使用しないようにすることが大切。カフェ、レストラン、多目的ルームは面積を変化させることができる様なシステムを考え、光熱費とランニングコストをおさえることが大切と思う。又、透光式太陽電池パネルとミストによるクーラー室外機冷却により、光熱費の削減とヒートアイランド防止につなげる。
○宇部市全体像の表示パネルが必要では？（宇部市の特長、産業、観光、etc.）宇部のシンボルを強調できないか？市役所を起点とした散歩コースの案内。